# 都市プランナー（設計事務所）の方とのミーティング メモ

令和2年8月11日10時～11時30分＠現地、上水南町公民館

出席者：6名（うち小平市議：橋本（久）、安竹）

記・安竹

設計事務所の方を、Kさんのご縁でご紹介いただきました。会社として動ける状況ではないものの、Kさんとのご縁と、小平市にゆかりがあるとのところもあり、今回ご協力くださいました。小平にある公園の設計担当をされたこともあるそうです。

## **現地視察**

* 寄付された方の意向を考えると切り売りするのは違うのではないか
* 近隣の公園とネットワークを形成するような形で、たとえば合気道であれば、健康というテーマで展開するなど
* 皆が来たくなるようなコンセプトを持たせられれば
* 土留めの高さはひざ上程度まで必要か
* 西側は2m程度のブロック塀なので、震災で倒壊の危険性がある
* 西側ブロック塀に隣接している住居の方に直接伺ったところ、生垣は虫が発生するのでやめてほしいとのこと。板でよいのではないか
* 売る予定だった部分については樹木がすっかり伐採されている

## **当方より旧佐川邸公園の経緯について説明**

**[配布資料]** 『旧佐川邸公園について（2020.6.28）』『旧佐川邸公園のプランについて（2020.8.1）』『市の当初提案公園設計図』

## **その他**

* 東屋については、計画通知が必要、都市公園法の中では建物は2％まで。それくらいであれば建てられる。最近緩和措置が出ており、用途によっては建築の面積が広がる。最低限、屋根付きの東屋であれば可能性ありか。藤棚は申請が必要ない
* 使われない小さな公園が増える、維持コストがかかるといった市としての課題もある中で、どう公園の開発を行っていくかは業界としても課題。このケースに関して、お互いにウィンウィンの関係で進めていけたら
* N市は、小さな公園を一括で指定管理している。この制度を作ったN市の元課長（T氏）がいる。大きめの公園に管理事務所があり、そこから小さな公園を管理していくという方式。赤字運営ではあるようだが。大きな公園は指定管理になっているものが多いが、小さな公園をまとめて指定管理に出すケースはN市以外に見当たらない。これまで公園を管理していた地域の業者とのしがらみがあり、一括管理にするのはなかなか難しいところがあったはず。指定管理者が自主事業を行って収益を上げていくことができれば。小さい公園だとそれがなかなか難しい
* 議員主催の講演会とすれば、費用については政務活動費が活用できる
* 今回のミーティングに関しても、他の仕事を抑えてきているので、そういう仕組みがあるとありがたい。そうでなくとも、最終的な成果につながるような形になれば社内的に説明ができる。
* この公園をどうしていきたいというテーマ、コンセプトを、皆の意思で作ったということで、周囲に理解してもらい、共有すること。そうでなければ、ワークショップをしてもまとまらない
* 考える会を続けているので、それを続けて意見を集約させ、市に提案していくことが良いのでは。様々な専門家を呼んで、集約していく。元行政の方から、どうすれば提案が通るようになるかなど
* コロナ禍の中で、高齢の方は外出自粛要請で運動しないことは体力の低下につながる。高齢者が運動できるような、そういった視点で公園の在り方を見直すこともできる。ベンチを一人一人座れるものにする、テーブルも広めのものを整備する、そういった視点で提案していくのは良いだろう
* 土地を売らないで進める方向を前提にして、建物に近い方は人がいかないよう植栽してフェンスの高さを下げるなど。西側の目隠し防音フェンスはそこそこの値段になるが、常に通り道のような扱いでなければ仕様を変えられる。地域の庭として使うなど。公園が地域住民の迷惑施設にならないよう整備の仕方を考えていけば、公園としてのしきりを緩和でき、整備費を抑えることができる
* 今後の進め方として、ひとつは、私たちのような都市プランナーの専門家にベースを作成してもらい、意見をもらいながらまとめていき、市に提示していく形がある
* 費用については市議の政務活動費として出せる部分が一部ある（講演会や勉強会の参加費として、一人当たり月3万円までの予算があり、それが活用できます。ただし設計費用としては出せません。）
* ランドスケープ経営研究会では、新しい公園の在り方、緑地の在り方を研究しており、そこに私たちもT氏もいる。研究会としてならば、T氏も別枠で参加してもらえる可能性もある。研究会のケースとして関われる可能性もある
* コロナ禍の中で、「公園からの健康づくり」というサイトがあり、そこにまとめてある。一つモデルケースができると、「私たちの近くの公園もそうして欲しい」といった要望が市民から出てくる。行政も予算が限られる中、地域に住んでいる人たちが主体的に提案していくような形がこれからの理想形。健康のため、自然環境のため、といったテーマであれば賛同を得やすい。我々としても活路を見出す部分。
* 9月13日の会でT氏に講演を依頼しては。その際は私たちから紹介があったという話をしていただければ。
* 今後、正式な形で、協力をお願いしたいというメールをいただき、会社と話をして、会社の方で対応するのか、研究会の方にするのかといった調整をしたい
* N市で指定管理をしている団体もあるので、T氏経由でつながることもできる。事務局の佐藤氏も研究会に参加している、そこを広げていくと小平市自身も前向きな方向になるのでは

## **宿題**

* 設計事務所に正式な協力依頼のメール等を作成・送信する（S）
* 9月13日の会に向けて、T氏に講演の依頼等調整を行う（S）